

2020年4月20日

公益社団法人 日本アドバイザーズ協会

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、JAA は広告業界に向けてのメッセージと、デジタルシフトが進む環境下での、2020年度の事業計画の概要を発表

公益社団法人 日本アドバイザーズ協会（理事長：伊藤 雅俊 味の素株式会社 取締役会長、中央区銀座、以下 JAA）は、「新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、広告に携わる広告主、広告会社、制作会社、メディア関係者が一丸となって生活者を支え、応援しよう」、というメッセージを発表しました。

また、広告やメディアのデジタルシフトが進む環境下、デジタル広告取引に関する監査や認証を行う組織の設立準備を開始すること、SDG s など社会課題解決のための企業取り組みが進む中、ダイバーシティを切り口に、広告表現や、働き方についてのダイバーシティの在り方について取り組む、など「2020年度の事業計画」を発表しました。

1. 伊藤理事長メッセージ

残念ながら、4月現在、新型コロナウイルスの感染拡大は継続中で、広告主、広告会社、メディア、制作会社、どの業種、そして、すべての世代、あらゆる地域に感染者がでています。感染拡大を防ぐために「人と接触しないこと」が求められており、「リスクを避ける」段階から「自分の命、家族の命を守る」ことが一番の優先される事態となっています。

テレワークが強く求められるこの時期に、様々な困難がある中で、広告制作の現場を動かそうとしているスタッフの皆様、社会に情報を届けることを絶やさないメディアの皆様には、深い敬意を表します。

新型コロナウイルスのパンデミックによる経済危機は、過去1世紀で最悪のものになると、いわれています。外出を控え、自宅で、業務を行ったり、待機する生活者が増え、電波やインターネットでアクセスできるメディアの重要度は高まり、その価値は向上しています。

新型コロナウイルスによる生活者の不安やストレスに対し、いまこそ、広告の「チカラ」を通じて、我々が、今の困難を乗り越える道筋を示すメッセージを、そして未来へのチャレンジを鼓舞する有益なメッセージを届けることが重要と考えます。

東日本大震災を経験し、我々は、有事の際の広告の価値を改めて再定義しました。同様な状況である今、我々、広告主は、社会とのかかわりを深く信じ、広告に携わる広告主、広告会社、制作会社、メディアの皆様方、全員が一つになって、しっかり生活者を支え、応援しましょう。

2. 2020年度事業計画

重点活動目標

- 1) 消費者が最適な広告体験を享受できるような環境づくりをめざす。
 - ①デジタルメディアにおける、組織設立によるアドベリフィケーション対応の強化をはかる。
 - ②メディア毎の共通効果指標の研究を行う。
 - ③各媒体の成功事例等を共有する。

- 2) グローバルに求められる社会課題についての啓発・研究を行う。
 - ①広告表現におけるダイバーシティ対応の事例研究を行う。
 - ②字幕付きCMを普及推進する。
 - ③企業Webサイトのアクセシビリティ対応を奨励する
 - ④ダイバーシティも含めた働き方改善を推進する。

- 3) JAA・Web研の組織について、環境変化に対応すべく現状の委員会のありかたを見直し、社会に対してどのような貢献をしてゆくのか専門チームを作り検討する。

事業毎の活動計画

- 1) 人材育成事業
 - ①『「超」基礎講座』や『実践広告塾』など総合的な知識を得る講座を実施する。
 - ②『クリエイティブ塾』や『Web担当者基礎講座』など担当者の専門知識を高める。講座を実施する。
 - ③関西、名古屋地区での人材育成セミナーを実施する。

- 2) 調査研究事業
 - ①「重点広告課題アンケート調査」や「JAA ミーティング」など広告主の最新動向を把握する調査・研究する。
 - ②各メディアの効果測定やメディア横断の共通指標など様々なデータに関する研究を行う。
 - ③広告表現におけるダイバーシティについて研究する。
 - ④広告業界の働き方改善のための研究を行う。

- 3) 表彰事業
 - ①「消費者が選んだ広告コンクール」について、延期された昨年度表彰式および本年度の募集、審査会を実施する。
 - ②広告論文に代わる新しい「JAA チャレンジ・アワード」を実施する。
 - ③「Webグランプリ」を実施する。

4) 啓発普及事業

- ① J-MONITOR や M-VALUE 等の効果測定データの活用事例に関するセミナーなどを実施する。
- ② アドベリフィケーションに関する啓発セミナーなど広告を取り巻く国内外の最新動向に関するセミナーを実施する。

5) 相談助言事業

広告主に限らず、消費者等からの相談・問い合わせに対し、対応可能な団体や個人を紹介する。

6) 他団体への支援連携事業

- ① 日本広告業協会、日本インタラクティブ広告協会などと連携し、アドベリフィケーションに関する監査組織の立ち上げについて検討する。
- ② コンテンツ海外流通促進機構 (CODA)、日本広告業協会、日本インタラクティブ広告協会など関連機関と協力して海賊版サイトへの広告出稿の抑制に努める。
- ③ 日本民間放送連盟、日本広告業協会などと字幕付き CM の普及推進を行う。
- ④ 日本広告学会への支援や広告関係団体連絡会「次世代人材研究会」との連携を通じて業界の人材育成を行う。

7) 広報事業：

- ① 協会 Web サイトをスムーズに運営する。
- ② 会報誌『月刊 JAA』を発行する。

3. 資料

- 1) 2020年2月27日(定時総会)以降の執行体制
- 2) 2020年度 各委員会の活動目標

【公益社団法人 日本アドバイザーズ協会 (JAA) について】

日本の有力なアドバイザー企業・団体自らが共同して、広告活動の健全な発展のために貢献することを目的として活動する公益社団法人です。マーケティング・コミュニケーションにデジタルを活用すべく研究・情報収集を行っている Web 広告研究会を有し、「人材育成事業」「調査研究事業」「表彰事業」「啓発普及事業」「相談助言事業」「他団体への支援連携事業」「広報事業」の7つの事業を基に、活動しています。

● 会員社数 282社 (2019年12月末現在)

● Web サイト <http://www.jaa.or.jp>

【本件に関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本アドバイザーズ協会 事務局 高田

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-7 ヒューリック銀座三丁目ビル8階

TEL : 03-3544-6580 (代表) FAX : 03-3544-6581 E-mail : jaa-info@jaa.or.jp

2020年4月20日

公益社団法人日本アドバタイザーズ協会

2020年2月27日 第63回定時総会/臨時理事会 以降の協会執行体制

<代表理事、業務執行理事、監事、相談役、顧問>

(敬称略)

協会役職	氏名	社名・部署・役職
理事長	伊藤 雅俊	味の素株式会社 取締役会長
常任理事	水谷 徹	サントリーホールディングス株式会社 常務執行役員 関西担当 サントリーコミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 宣伝・デザイン本部長
常任理事	片上 崇	味の素株式会社 理事 広告部長 兼 オリンピック・パラリンピック推進室長
常任理事	丸山 哲朗	パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 宣伝部部長
常任理事	幼方 聡子	東レ株式会社 宣伝室長
常任理事	大畑 俊樹	第一三共ヘルスケア株式会社 営業統括部第一営業部長
専務理事	鈴木 信二	公益社団法人日本アドバタイザーズ協会
常務理事	小出 誠	公益社団法人日本アドバタイザーズ協会
監事	生野 徹	東京ガスコミュニケーションズ株式会社 取締役 プロモーション事業部長・メディア部長
監事	早川 徹	株式会社三越伊勢丹ホールディングス 参与
監事	坂間 典人	セイコーホールディングス株式会社 広報室長 兼 スポーツ・企業文化部 企業文化担当部長
相談役	佐治 信忠	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役会長
顧問	久保田 和昌	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 社長室 上席執行役員 CMO
顧問	土橋 代幸	株式会社デルフィス 専務取締役

※社名・部署・役職は2/27定時総会時のものです。

2020年度 各委員会の取り組み活動概要

デジタルメディア委員会：委員長 山口 有希子（パナソニック コネクティッドソリューションズ社）

- 1) 取引の適正化・透明化
アドベリフィケーションに対応するデジタル広告取引に関する監査や認証を実施する
組織・機関の設立準備
- 2) 効果の可視化
「流通企業との取り組みにおける TV とデジタルの商談用共通指標」の普及推進

電波委員会：委員長 小出 誠（資生堂ジャパン）

- 1) データ整備
「効果の可視化」と「取引の多様化」への対応
- 2) 考査
CM 素材考査のあり方を協議
- 3) 字幕付き CM
普及推進協議会幹事団体として普及促進活動
・字幕付き CM が対応可能な放送枠を増やすための動きをロードマップ化
・会員社への啓発や制作に関する知見の共有
- 4) 有事対応
有事における CM 取り扱いのレギュレーション整備

ダイバーシティ委員会：委員長 幼方 聡子（東レ）

- 1) 広告表現におけるダイバーシティ対応の啓発
アンコンシャスバイアスの啓発セミナー開催
- 2) ダイバーシティに関する広告表現の適正化
 - ①事例研究とチェックリストやガイドラインなどの策定
 - ②UN WOMEN（国連女性機関）による Unstereotype Alliance
（ジェンダー視点での固定概念を撤廃するための基盤）への参画

消費者委員会：委員長 大畑 俊樹（第一三共ヘルスケア）

第59回 J A A 広告賞 消費者が選んだ広告コンクールの実施

新聞委員会：委員長 片上 崇（味の素）

- 1) 新聞広告に関する活用事例研究
日本新聞協会や日本広告業協会と共催でデジタル化への対応や活用事例をテーマにセミナー開催
- 2) 新聞広告効果測定データ「J-MONITOR」の情報共有と活用促進
データに関する意見交換会や活用事例セミナーの開催

雑誌委員会：委員長 佐藤 圭（日本たばこ産業）

- 1) 雑誌広告に関する活用事例研究
日本雑誌協会や日本雑誌広告協会との共催でデジタル化への対応や活用事例をテーマに
セミナー開催
- 2) 雑誌広告効果測定データ「M-VALUE」の情報共有と活用促進
データに関する意見交換会や活用事例セミナーの開催

SP委員会：委員長 水谷 徹（サントリーホールディングス サントリーコミュニケーションズ）

- 1) 屋外交通広告の活用事例研究
デジタル化への対応や活用事例をテーマにセミナー開催
- 2) 交通広告共通指標データの充実
交通広告データの一元化と交通広告効果の業界標準としての共通指標整備を推進

クリエイティブ委員会：委員長 名久井 貴詞（味の素）

- 1) 制作実務の人材育成
クリエイティブ塾、クリエイティブセミナーの開催

国際委員会：委員長 植田 久美（日本アイ・ビー・エム）

- 海外動向の最新情報の収集と発信
WFA（世界広告主連盟）等の海外情報の共有や海外の広告に関する最新情報をテーマにしたセミナーの開催

広告取引委員会：委員長 小和田 みどり（ライオン）

- 1) 広告取引に関する法令順守の啓発
各種広告関連法規に関するセミナーの開催
- 2) 予算配分の最適化や効果検証に関する研究
コミュニケーション全体の予算配分の最適化や効果測定に対する考え方や事例の研究

セミナー委員会：委員長 霜田朝之（オリエンタルランド）

- 人材育成セミナーの充実
「超」基礎講座、実践広告塾、関西セミナー、JAA ミーティング等の開催

チャレンジアワード委員会：委員長 澤村 環（アフラック生命保険）

- 第1回 JAA チャレンジアワードの実施
広告主のマーケティング課題や社会課題の解決につながる新しいチャレンジを募集・表彰

働き方改善プロジェクト：リーダー 名久井 貴詞（味の素）

- 1) 制作実務に関する意見交換
JAC（日本アド・コンテンツ制作協会）の制作見積ハンドブックに関する意見交換実施
- 2) デジタル領域の働き方改善に向けた取組
JIAA（日本インタラクティブ広告協会）や制作プロダクションの団体ICE（Interactive Communication Experts）との意見交換実施

協会活動体制強化プロジェクト：リーダー 丸山 哲朗（パナソニック）

- 環境変化により柔軟に対応できるよう協会体制の強化案の検討

以上